

# 倉敷の探鳥コース



第7回「くらしきの自然」写真コンクール 特別賞 「かわせみ」  
カワセミは倉敷市の市の鳥です。

# 倉敷の探鳥コース



① 由加山  
② 浅原  
③ 円通寺

④ 種松山  
⑤ 日差山  
⑥ 向山

⑦ 竜王山  
⑧ 三百山  
⑨ 藤戸

## はじめに

倉敷市では、野鳥の姿や鳴き声を楽しみ、自然に親しむことを目的として、市内で9か所の探鳥コースを設定しています。このたび、探鳥コースの情報を改めて紹介することにしました。

この冊子が、みなさんにとって野鳥をより身近に感じ、自然に親しんでいく助けになれば幸いです。

## この冊子について

- ・ 掲載されている野鳥の種類は、探鳥コースを設定するときの調査などで確認されたものです。滅多に見られない鳥もいるかもしれません。また、掲載されていない野鳥もいるかもしれません。
- ・ この冊子での観察できる時期は、それぞれの場所をよく見られる時期です。図鑑等の記載とは異なるものがあります。
- ・ 地図上では、案内板を設置している場所を、「ここです」の看板で示しています。参考にしてください。
- ・ 地図ではコースを太めに描いているため、実際の印象と異なる場合があります。道に迷わないように注意してください。
- ・ 参考のため、かなり細い山道まで描き込んであります。これらの道は通れなくなっている場合もありますので、ご注意ください。



「くらしきの自然」写真コンクール  
入選作品「早春」

昭和52年3月7日設定



## 外回りコース

距離 約6km  
所要時間 約4時間半

## 内回りコース

距離 約3.1km  
所要時間 約2時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、ゴイサギ、コサギ、アオサギ、トビ、コジュケイ、キジ、キジバト、フクロウ、カワセミ、アオゲラ、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ハシボンガラス、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

サシバ、カッコウ、ホトトギス、アオバスク、ヨタカ、ツバメ、ヤブサメ、コシアカツバメ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ



オオルリ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

マガモ、コガモ、ツミ、ハイタカ、ノスリ、キセキレイ、ビンズイ、ミンサザイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、エゾビタキ、トラツグミ、シロハラ、ツグミ、クイタダキ、コジュリン、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、クロジ、アトリ、マヒワ、ウン、カケス

## コースの概要

倉敷市内ではもっとも豊かな自然が残る由加山を歩くコース。

山系を大きくひとまわりする外回りコースと、短めの内回りコースがあります。内回りコースでもかなりの鳥が見られますが、山間を好む鳥に片寄り気味で、外回りコースの方が多様な環境があります。

案内板のある駐車場から参道の石段を登って平らな道に出るとすぐにある西側に入る細い道がコースになっています。広い駐車場に出るとコースは二手に分かれ、桜園地で合流します。桜園地には数千本の桜が植えられ花見の名所になっています。妙見宮の登り口で歩道と車道に分かれ、妙見山をまわったところで合流します。ここから先が外回りコースとなり、かなりの距離があります。

コースの東辺は、蛍遊の水辺・由加として整備されていて、6月上旬頃にはホタルの乱舞が見られます。

昭和52年11月28日設定



距離 約3.5km  
所要時間 約2時間半

## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、コサギ、トビ、コジュケイ、キジ、キジバト、アオゲラ、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、ヒガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

サシバ、ツツドリ、ホトトギス、アオバズク、ヨタカ、ツバメ、ノビタキ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

ノスリ、チョウゲンボウ、キセキレイ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、カケス



イカル

## コースの概要

安養寺前から福山へ登るコース。安養寺はあじさいで有名で、6月頃にたくさんのお花が咲きます。

安養寺周辺は歩きやすいのですが、途中から足下の悪い急坂になります。体力に自信のない方は、旧清音村により「きよねの里山 福山を歩こう」として整備された道がありますので、看板のある場所から「上の横道南コース」に入り、「直登コース」の階段を登った方がよいでしょう。こちらは、階段はきついですが、ウッドチップが敷きつめられていて快適に歩けます。



福山頂上から北西方面の眺めは絶景です。

# 円通寺コース

Entūji Course

昭和53年12月26日設定



距離 約5.5km  
所要時間 約3時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、ゴイサギ、コサギ、ミサゴ、トビ、キジ、シロチドリ、イソシギ、キジバト、ドバト、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

コチドリ、コアジサシ、ツバメ、コシアカツバメ、オオヨシキリ、セッカ



メジロ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

チョウゲンボウ、ユリカモメ、カモメ、ウミネコ、ハクセキレイ、ビンズイ、タヒバリ、ジョウビタキ、ツグミ

## コースの概要

良寛和尚ゆかりの円通寺を起点に中津池や玉島港周辺をまわるコース。円通寺公園は桜の名所としても有名です。

果樹園や段々畑が多く、山肌の見通しがよいため、野鳥を見つけやすい場所が多くなっています。また、玉島港ではウミネコなどの海辺の鳥が見られます。

下池から中津池にかけては、両側に民家が建っているところも多く、その合間の畑や庭木に来る鳥を見ることになります。古い民家が多いので、そのたずまいを見ながら歩くのも楽しみです。

亀崎神社周辺までまわるコースの西辺・北辺は、コース設定後に宅地化が進みましたが、街中や田んぼに多い野鳥が見られます。

コースが長すぎる場合は、円通寺公園内を歩くだけでも多くの野鳥が見られます。

# 種松山コース

Tanematsuyama Course

昭和55年1月7日設定



距離 約4.0km  
所要時間 約1時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、ゴイサギ、コサギ、トビ、コジュケイ、キジ、キジバト、フクロウ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、セッカ、エナガ、ヒガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシボンガラス、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

サシバ、バン、カッコウ、ホトトギス、アオバズク、ヨタカ、ツバメ  
コシアカツバメ、センダイムシクイ



エナガ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

カルガモ、コガモ、ノスリ、キセキレイ、ビンスイ、キレンジャク、ヒレンジャク、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、キクイタダキ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、シメ、カケス

## コースの概要

種松山山頂公園を起点に、種松山公園西園地・野草園をまわるコース。  
案内板のある種松山山頂公園や種松山公園西園地には駐車場があります。舗装された車道を歩くため足下はいいのですが、高低差はそこそこあります。  
幅の広い車道が多いため、観察に不向きなように思えますが、前方への見通しがとれるため、意外と多くの野鳥を見ることができます。  
また、西園地には桜、梅、バラ、あじさい、サザンカなどが植えられ、季節ごとの花が楽しめます。アスレチックもありますので小さなお子様連れでも遊びに来られます。一方、野草園ではサギソウなどの野草を保護しています。こちらでも春先から秋までさまざまな花が見られます。

# 日差山コース

Hisashiyama Course

昭和56年1月6日設定



距離 約3.0km  
所要時間 約2時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、コサギ、アオサギ、トビ、ヤマドリ、キジ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

サシバ、バン、ホトトギス、ツバメ、コシアカツバメ、アオバスク



コゲラ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

マガモ、ノスリ、チョウゲンボウ、キセキレイ、ハクセキレイ、ピンズイ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、カケス

## コースの概要

日差寺からふもとの集落を通過して金崎池に至るコース。

日差寺から急な石段を下りるとすぐに分かれ道があります。ここから池の西側をまわるルートは道の一部が草に埋もれて歩きにくくなっています。西側のルートは竹やぶを抜けて集落に出たところ、東側のルートは下池の東側を通過してつきあたりを西に曲がったところで合流し、民家の裏を抜けて南へ下ります。

畑の間を進むと分かれ道に「探鳥コース」の立て札があります。ここから南は倉敷北部縦走コースと合流し、歩きやすくわかりやすい道が続きます。この立て札のところで日差山の矢印の方向へ行くと仕手倉山近くまで登る遠まわりの道になります。倉敷北部縦走コースは安養寺まで続きますが、探鳥コースは金崎池で折り返しとなります。

# 向山コース

Mukōyama Course

昭和57年1月6日設定



距離 約4.0km  
所要時間 約2時間



## 四季を通じて見られる野鳥

ゴイサギ、コサギ、トビ、キジ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

ホトトギス、アオバズク、ヨタカ、ツバメ、セッカ



キジバト

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

ビンズイ、ジョウビタキ、ツグミ、キクイタダキ、カシラダカ、カケス、ミヤマホオジロ、アオジ、アトリ、シメ

## コースの概要

倉敷市街地周辺の向山に設定されたコース。コースの途中に小野小町の伝説が残る小町井戸があります。

向山公園の駐車場に車を止めて歩けます。ユースホステルの南側の分かれ道は、墓地の間の細い道に入っていくようになりますので見落とさないように注意してください。また、小町井戸に下っていく道は車が入れないようにロープが張られていますが、徒歩なら入ることができます。この部分は未舗装で草が生えていることもあります。しっかりした靴を履いていれば歩くのに困るほどではありません。



カワラヒワ



# 竜王山コース

Ryuōzan Course

昭和58年3月27日設定



距離 約2.0km  
所要時間 約1時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、コサギ、トビ、コジュケイ、キジ、キジバト、コゲラ、ヒバリ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ハシブトガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

サシバ、ツバメ、コシアカツバメ



シジュウカラ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

カルガモ、コガモ、ハイタカ、ユリカモメ、カモメ、ビンズイ、ジョウビタキ、ツグミ、カシラダカ、アオジ、アトリ、シメ

## コースの概要

児島市街地の西側にそびえる竜王山をまわるコース。

竜王山西国三十三所霊場の順路を利用してコース設定しているため、巡礼の案内看板に従ってまわれば、観音巡りも同時にできますが、その場合は脇道に入る部分がありますので、30分ほど余分に時間が掛かります。

コースは巡礼者のためによく整備されていて、ところどころにベンチも設置されていますが、急な坂道も多くすべりやすい場所もあります。その坂道を登り切りますと、頂上付近では水島灘から瀬戸大橋、児島湾まで一望でき、すばらしい景色が見られます。

頂上から西は大きな木が無く、笹に覆われています。ここは平成5年4月の山火事で焼失した部分で、いまでも焼けこげた木が残っています。笹の間からは少しずつ新しい木が生えてきています。これから植生が変わるにつれてここで見られる鳥も変わっていくのではないのでしょうか。

# 三百山コース

Sanbyakuyama Course

平成6年3月31日設定



## 四季を通じて見られる野鳥

トビ、コジュケイ、キジバト、コゲラ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ハシブトガラス、ハシボソガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

アマサギ、ホトトギス、ツバメ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、アオジ、マヒワ



トビ

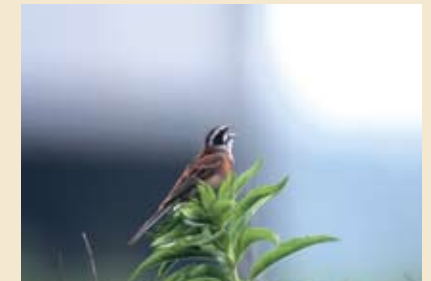
## コースの概要

下津井のツツジの名所、三百山にある探鳥コース。ツツジの季節には、斜面一面が真っ赤になる景色が見られます。

現地までの道はややわかりにくいのですが、国民年金保養センターしもついでを目指せば、要所に看板があります。

コースは保健保安林の中にあり、昭和50年には食餌樹木植栽事業としてクロガネモチなどが植えられたようですが、人工度が高いせいか、野鳥の種類としてはやや単調なようです。

山頂からは、六甲島をはじめ瀬戸内海に浮かぶ島々が見られます。また、ここはパラグライダーの離陸ポイントにもなっています。



ホオジロ

昭和55年11月1日設定



距離 約2.0km  
所要時間 約1時間半



## 四季を通じて見られる野鳥

カイツブリ、ゴイサギ、ダイサギ、アオサギ、トビ、ハヤブサ、キジ、バン、キジバト、ドバト、カワセミ、コゲラ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス、エナガ、ヤマガラ、シジウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ハシブトガラス、ハシボンガラス

## 春から夏にかけて見られる野鳥

アマサギ、ツバメ、ヤブサメ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ



ヤマガラ

## 秋から冬にかけて見られる野鳥

マガモ、カルガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ハイタカ、ノスリ、キセキレイ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、ミヤマホオジロ、アオジ

## コースの概要

藤戸寺の南側の山をまわるコース。

なだらかで歩きやすい道ですが、山、ため池、水田、果樹畑など変化に富んだ環境があり、多くの種類の野鳥が見られます。

良好なため池が多いためでしょうか、倉敷の鳥に選定されたカワセミが比較的よく見られます。小柄な鳥なので双眼鏡が必要ですがため池の向こう岸を見るようにすれば、カワセミを驚かさずに見ることができます。

また、冬季になりますと、二ツ池下池には多くのカモがやってきます。カモは人慣れしているのでしょうか、人間が近づいても割合近くの水面を泳いでいて、観察がしやすくなっています。ここで、カモの雌雄や、種類による違いを観察してはいかがでしょうか。

# 探鳥コースで見られる野鳥

季節は倉敷で見られる季節です。

種名	科名	季節	岡山県版 R D B	探鳥コース								
				由加山	浅原	円通寺	種松山	日差山	向山	竜王山	三百山	藤戸
カイツブリ	カイツブリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゴイサギ	サギ科	年中		○		○	○		○			○
アマサギ	サギ科	夏									○	○
ダイサギ	サギ科	年中										○
コサギ	サギ科	年中		○	○	○	○	○	○	○		
アオサギ	サギ科	年中		○				○				○
マガモ	ガンカモ科	冬		○				○				○
カルガモ	ガンカモ科	年中					○			○		○
コガモ	ガンカモ科	冬		○			○			○		○
ヨシガモ	ガンカモ科	冬										○
オカヨシガモ	ガンカモ科	冬										○
ヒドリガモ	ガンカモ科	冬										○
オナガガモ	ガンカモ科	冬										○
キンクロハジロ	ガンカモ科	冬										○
ミサゴ	ワシタカ科	年中	絶滅危惧種			○						
トビ	ワシタカ科	年中		○	○	○		○	○	○	○	○
ツミ	ワシタカ科	冬	危急種	○								
ハイタカ	ワシタカ科	冬	絶滅危惧種	○						○		○
ノスリ	ワシタカ科	冬	希少種	○	○		○	○				○
サンバ	ワシタカ科	夏	危急種	○	○		○	○		○		○
ハヤブサ	ハヤブサ科	年中	絶滅危惧種									○
チョウゲンボウ	ハヤブサ科	冬	準危急種		○	○		○				
コジュケイ	キジ科	年中		○	○		○			○	○	
ヤマドリ	キジ科	年中	準危急種					○				
キジ	キジ科	年中		○	○	○	○	○	○	○		○
バン	クイナ科	年中					○	○				○
コチドリ	チドリ科	夏				○						
シロチドリ	チドリ科	年中				○						
イソシギ	シギ科	年中				○						
ユリカモメ	カモメ科	冬				○				○		
カモメ	カモメ科	冬				○				○		
ウミネコ	カモメ科	冬				○						
コアジサシ	カモメ科	夏	絶滅危惧種			○						
キジバト	ハト科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオバト	ハト科	年中			○							
ドバト	ハト科	年中				○						○
カッコウ	ホトトギス科	夏	希少種	○			○					
ツツドリ	ホトトギス科	夏	希少種		○							
ホトトギス	ホトトギス科	夏		○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオバズク	フクロウ科	夏	危急種	○	○		○	○	○			
フクロウ	フクロウ科	年中	絶滅危惧種	○			○					
ヨタカ	ヨタカ科	夏	危急種	○	○		○		○			
カワセミ	カワセミ科	年中	留意種	○				○				○
アオゲラ	キツツキ科	年中	希少種	○								
コゲラ	キツツキ科	年中		○	○			○	○	○	○	○
ヒバリ	ヒバリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ツバメ	ツバメ科	夏		○	○	○	○	○	○	○	○	○
コシアカツバメ	ツバメ科	夏		○		○	○	○		○		

種名	科名	季節	岡山県版 R D B	探鳥コース								
				由加山	浅原	円通寺	種松山	日差山	向山	竜王山	三百山	藤戸
キセキレイ	セキレイ科	年中		○	○		○	○				○
ハクセキレイ	セキレイ科	冬				○		○				○
セグロセキレイ	セキレイ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ビンズイ	セキレイ科	冬		○		○	○	○	○	○		
タヒバリ	セキレイ科	冬				○						
ヒヨドリ	ヒヨドリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
モズ	モズ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
キレンジャク	レンジャク科	冬					○					
ヒレンジャク	レンジャク科	冬春					○					
ミンサザイ	ミンサザイ科	冬		○								
ルリビタキ	ヒタキ科	冬		○								
ジョウビタキ	ヒタキ科	冬		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノビタキ	ヒタキ科	夏			○							
トラツグミ	ヒタキ科	冬	希少種	○								
シロハラ	ヒタキ科	冬		○	○		○	○			○	○
ツグミ	ヒタキ科	冬		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤブサメ	ヒタキ科	夏		○								○
ウグイス	ヒタキ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
オオヨシキリ	ヒタキ科	夏	希少種			○						
センダイムシクイ	ヒタキ科	夏		○			○					○
クイタダキ	ヒタキ科	冬		○			○		○			
セッカ	ヒタキ科	年中				○		○				
キビタキ	ヒタキ科	夏	希少種	○								○
オオルリ	ヒタキ科	夏	希少種	○								○
エゾビタキ	ヒタキ科	夏		○								
コサメビタキ	ヒタキ科	夏		○								
エナガ	エナガ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ヒガラ	シジュウカラ科	年中			○		○					
ヤマガラ	シジュウカラ科	年中		○				○				
シジュウカラ	シジュウカラ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
メジロ	メジロ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホオジロ	ホオジロ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
コジュリン	ホオジロ科	冬	絶滅危惧種	○								
カシラダカ	ホオジロ科	冬		○	○		○	○	○	○		
ミヤマホオジロ	ホオジロ科	冬		○	○		○	○	○			○
アオジ	ホオジロ科	冬		○	○		○	○	○	○	○	○
クロジ	ホオジロ科	冬		○								
アトリ	アトリ科	冬		○			○	○	○	○		
カワラヒワ	アトリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
マヒワ	アトリ科	冬		○								○
ウソ	アトリ科	冬		○								
イカル	アトリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○		○
シメ	アトリ科	冬					○		○			
スズメ	ハタオリドリ科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○
ムクドリ	ムクドリ科	年中			○	○	○	○	○			
カケス	カラス科	年中		○	○		○	○	○			
ハシボソガラス	カラス科	年中		○			○	○	○		○	○
ハシブトガラス	カラス科	年中		○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 野鳥の生活のいろいろ

- 年中いる鳥 …… 一年中、倉敷地方で見られる鳥
- 冬見られる鳥 …… 夏に北の国でひなを育て、秋にやってきて春に去る鳥
- 夏見られる鳥 …… 春にやってきてひなを育て、夏から秋に南の国に去る鳥
- 春、秋にわたる鳥 …… 春と秋の渡りの途中、定期的に立ち寄る鳥

## 野鳥の「ききなし」

「ききなし」というのは、鳥の声を人間のことばになおしたもので、鳥の鳴き声をおぼえるのに便利です。

- ホオジロ —— サッポロラーメン・ミソラーメン  
いっぴつけいじょう 一筆啓上つかまつり候、源平ツツジ・白ツツジ
- メジロ —— 長兵衛・忠兵衛・長忠兵衛  
ちやうべい ちやうべい ちやうちやうべい
- フクロウ —— 糊付け干せい、ポロ着て奉公  
のりつ ほうこう
- ツバメ —— 土喰うて虫喰うて口渋い  
く くい しぼい
- ホトトギス —— テッペンかけたか、特許許可局  
とつきよきよかきよく  
トツツアンこけたか
- コジュケイ —— ちょとこい
- ヒバリ —— 日一步・日一步、利取る・利取る  
ひいちぶ ひいちぶ りと りと

## 鳴き声そのまま名前になった鳥

- カッコウ —— カッコウ、カッコウ
- ヒヨドリ —— ヒーヨ、ヒーヨ
- ケリ —— ケリッ、ケリッ

# 鳥を見わかるコツ〔山野の鳥〕

## ○大きさとかたち

倉敷市内でよく見かける鳥6種です。知らない鳥に出会ったらものさしがわりに大きさやからだつき、くちばし・尾・足・つばさの長さや形をくらべてみましょう。

スズメ (14cm)

ムクドリ (24cm)

ヒヨドリ (27cm)



チュンチュン

ジャー・ギョルル

ピーヨピーヨ

キジバト (33cm)

ハシブトガラス (56cm)

トビ (69cm)



デーデーポーポー

カアカア

ピーヒョロロ

## ○飛びかた

まっすぐに飛ぶ、波のように飛ぶ、空中で停飛（ホバリング）するなど、飛び方で見わけることができます。

まっすぐに飛ぶ鳥 { スズメ・ムクドリ  
キジバトなど



波のように飛ぶ鳥 { ヒヨドリ・カワラヒワ  
イカルなど



## ○歩きかた

地面におりたとき、どんな歩きかたをしたかで見わけることができます。ウォーキングとホッピングの両方の歩きかたをする鳥もいますので、気をつけて見ましょう。

ウォーキング { ムクドリ・キジバト  
トビなど

ホッピング { スズメ・ヒヨドリ  
ツグミなど



## ○鳴きかた

どんな声で鳴きましたか？鳴き声を覚えましょう。

# 鳥を見わけるコツ [水辺の鳥]

## ○大きさとかたち

倉敷市内の海、川、池、沼など水辺でよく見かける鳥6種です。  
水中にもぐったり水面に浮かんでいる鳥もいます。  
羽根の色が、夏羽と冬羽で変わる鳥もいますので、気をつけてみましょう。



コチドリ (16cm)

チドリ類は、くちばしも短め。多くはオス、メス同色。チョコチョコと歩いては餌をついばみ、また歩いては餌をついばむ。  
ピオピオ



カイツブリ (26cm)

川や池、沼にいて、水に潜って餌をとる。くちばしはとがって尾は短い。ヒナを背に乗せて泳ぐ。(ケレレレ) 人が近づくとすぐ潜り、思わぬ方向に浮く。  
ピッピ、キリリリ



ユリカモメ (40cm)

カモメ類は主に冬、沿岸の海上や河口、沼などに群れる。黒、灰色、白などが主な色。足ゆびに水かきがある。  
ギューイ



チュウシャクシギ (42cm)

シギ類はくちばしと足が長く、オス、メスが同色。頭をさげたまま水辺を歩いて餌をとる。春秋に群れでやってくる。

ホイピピピピー



マガモ (59cm)

カモ類はほとんど冬に見られる。潜って餌をとり、助走して飛び立つ海ガモと、水上で餌をとり、すぐに飛び立つ淡水ガモに分けられる。  
グエークエーグエク



アオサギ (93cm)

足もくちばしも長く、おもに水の中を歩き回って餌をとる。樹上にコロニーをつくるものが多い。木にとまって休むことも多い。  
グアー

## ○水鳥の水上姿勢



カイツブリ



カモメ



淡水ガモ



海ガモ

# 観察した鳥の名前を メモしましょう

とき	平成 . . . : ~ : 天候 ( )					
ところ						
見つけた鳥						
わからなかった鳥はメモして調べましょう。						
NO	大きさ かたち	くちばしの かたち	羽根の色	鳴き声	その他	鳥の名前
1						
2						
3						
4						
5						



## 自然観察のマナー

- 耳をすまして聞いてみよう。
- 自然を傷つけないように。
- むだな採集はやめよう。
- 火は使わないように。
- ゴミは全部持ち帰ろう。

### 倉敷市 市民環境局環境部環境政策課

〒710-8565 倉敷市西中新田640

電話 426-3391 FAX 426-6050

E-mail [eptc@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:eptc@city.kurashiki.okayama.jp)

URL <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kkanpo/index.html>

この冊子は、玉島信用金庫様の御厚意により発行しました。

平成18年6月発行